タモトユリ

5月号

十島村立
口之島小中学校
児童生徒会新聞
5月25日発行

こどもの日レク　みんな笑顔で！

こいのぼりと共に楽しく

四月二十九日の午前中に学校の校庭と体育館で子どもの日レクリエーションが行われました。今年も天気に恵まれた中でのレクでした。全部で六つのレクリエーションをしましたが、その中で一番印象に残ったのは、一番最後に行った野球です。いつものごとく、先生と保護者の方々対児童生徒のガチンコ勝負でした。先攻は先生・保護者の方々チームでした。ピッチャーが安定していたので、無失点でした。その裏に僕たち児童生徒チームの攻撃でした。上位打線が爆発し、五点も取りました。次の回からも点を取られましたが、九対七で勝てたので一番盛り上がり、一番思い出に残りました。

あと一年も島にいることができないので、勉強を努力するのはもちろん、たくさんの行事の思い出をつくりたいです。そして、後悔のないようにしっかりと思い切り楽しんで、一日一日を大切に過ごしたいです。

≪中三　　≫

四月二十九日日曜日に、学校で子どもの日レクがありました。一番最初にしたリレーは、新聞紙が破れたりしてとても大変でした。次にしたおにごっこは、「仲間集めゲーム」や「真ん中安心おにごっこ」をしました。とても疲れて息が切れそうになりました。次のジェスチャーゲームでは、ABCに分かれてしました。面白くて、見ている人達もとてもワクワクしました。Aチームは四点、Bチームは十三点、Cチームは九点で終わりました。次にしたボッチャは、最初はどういう遊びか分からなかったのですが、みんなでいう遊びか分からなかったので、今度するときには勝ちたいです。最後にしたまったので、野球は、　君と　君のかっこいいプレーと、みんなが協力して取り組んだおかげで子どもチームの勝利で終わることができました。みんなが楽しく、笑顔でることができました。私のチームは負けてしまうことができたので子どもの日レクは成功でおわりました。

≪小五　　≫

大きく美味しくなあれ　さつまいも！

四月三十日月曜日の二時から、ふれあい農園でサツマイモの苗植えがありました。最初にみんなでマルチを張りました。張った後は、いよいよ苗植えです。簡単に抜けないように、割り箸を使ってななでも苗植えをしたことがありましたが、難しかったです。だから一度掘って植えました。人が踏んでいた部分は、固くなっていました。土をとつておいたところを入れて運ばなければいけませんでした。一輪車に土を入れて運ばなければいけませんでした。マルチ張りでは、土をとつておいたところを深く掘って、一輪車に土を入れて運ばなければいけませんでした。人が踏んでいた部分は、固くなっていました。だから一度掘って柔らかくした土をスコップで入れたから、随分と時間がかかりました。その後いよいよ、さつまいもを植えました。割り箸にさつまいもの根が挟まって、抜く時に一緒についてきたりしました。だから一度掘って植えることができました。なかなか大変でしたが、早く正確に植えることができました。上鹿していた人が多くて、児童生徒は十人で、たくさん育つてほしいです。でも、みんなで協力して取り組んだおかげで、一時間くらいで終わりました。十月にさつまいも掘りがあるので、大学芋が食べられたらうれしいです。給食でも、さつまいも植えがありました。土をとつておいたところを入れて運ばなければいけませんでした。一輪車に土を入れて運ばなければいけませんでした。人が踏んでいた部分は、固くなっていました。だから一度掘って柔らかくした土をスコップで入れたから、随分と時間がかかりました。その後いよいよ、さつまいもを植えました。割り箸にさつまいもの根が挟まって、抜く時に一緒についてきたりしました。だから一度掘って植えることができました。なかなか大変でしたが、早く正確に植えることができました。上鹿していた人が多くて、児童生徒は十人で、たくさん育つてほしいです。でも、みんなで協力して取り組んだおかげで、一時間くらいで終わりました。十月にさつまいも掘りがあるので、大学芋が食べられたらうれしいです。給食でも、

≪小六　　≫

四月二十九日に、子どもの日レクがありました。大きなこいのぼりも飾られていました。最初にした「新聞紙リレー」では、新聞紙を一度も破らずゴールする子どもの日レクでした。二番目の「真ん中安心おにごっこ」では、一度もおにになりませんでした。休憩時間には、お菓子をもらいました。見たことのない駄菓子が入っていて、みんなおいしそうに食べていました。僕が一番楽しかったのは、ボッチャです。少しミスをしてしまい一勝一敗で終わったけれど、とても思い出に残る子どもの日レクでした。

≪小三　　≫

タモトユリ調査隊　タイムスリップ　過去の学校へGo!

今月号から、新しい特集「タモトユリ調査隊　～タイムスリップ　過去の学校へGo！」がスタートします。この特集では、口之島小・中学校の卒業生の皆さんへの取材を通して、学校の昔の様子や歴史について学びます。現在と過去でどのような違いがあるのかを、それぞれの年代ごとに調べていきたいと思います。今回は、二十代の　　さんに取材をお願いしました。

まず　　さんに聞いたのは、当時の児童生徒数です。小学生の頃は多かったそうですが、中学校を卒業するときには全校児童生徒が八人しかいませんでした。現在の口之島小中学校は十八人いるので、昔は少なかったということに驚きました。

次に、どのような行事があったかについて聞きました。お別れ遠足は今でもありますが、その当時はセランマ温泉まで歩いて行っていたそうです。臨海学校では、キャンプファイヤーをしたり、漂流物や砂で工作をしたりするなど、現在はやっていない活動もいろいろありました。地域の方々と一緒にやっていたそうです。健康広場で青年団の方々とのソフトボール大会もあり、さんが一番思い出に残っている行事は運動会で、特に応援合戦がかなり盛り上がったそうです。高齢者の方に昔の応援歌を教えてもらったりして、とても力を入れていました。また、今はしていない仮装行列などもあり、話を聞いて楽しそうだなと思いました。

今みんなで取り組んでいるエイサーは、昔はしていませんでした。そのかわり、金管バンドがすごかったようで、昼休みも個人レッスンをしていました。小三から中三まで同じ楽器を使い、十島の行事で発表をしていたそうです。さんはアルトホルンやユーフォニウムを担当していたそうです。

新聞委員会で作成している児童生徒会新聞「タモトユリ」は、最初は全部手書きでやっていたので時間がかかり、昼休みがとても忙しかったそうです。途中からは、パソコンで作った記事も組み合わせるようになりました。今でも、　　さんたちが作った児童生徒会新聞が学校に残っています。

校庭の壁に描かれている壁画は、中学生の頃に作成したそうです。下書きをして、型をとつて描きましたということです。

当時の写真も見せていただきました

さんは私たちに「島だからこそできる遊びを、もつと楽しんだらいいよ。」とおつしやいました。

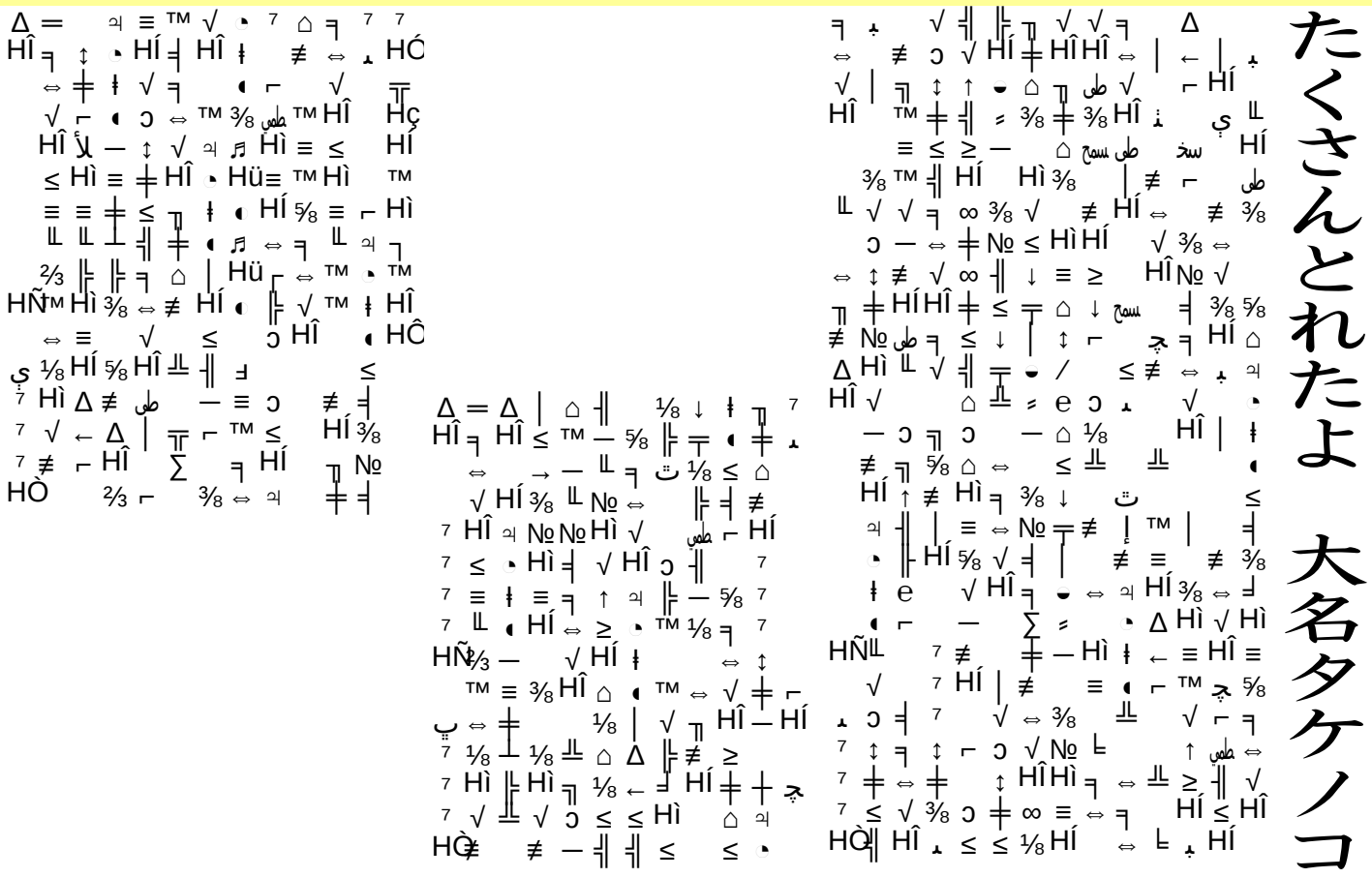
さんが小中学生の頃は、今よりももつと自然とふれあう活動が多かったということが分かりました。私たちも、これからは今まで以上に島の自然を楽しんでいきたいと思いました。

さん、本当にありがとうございました。

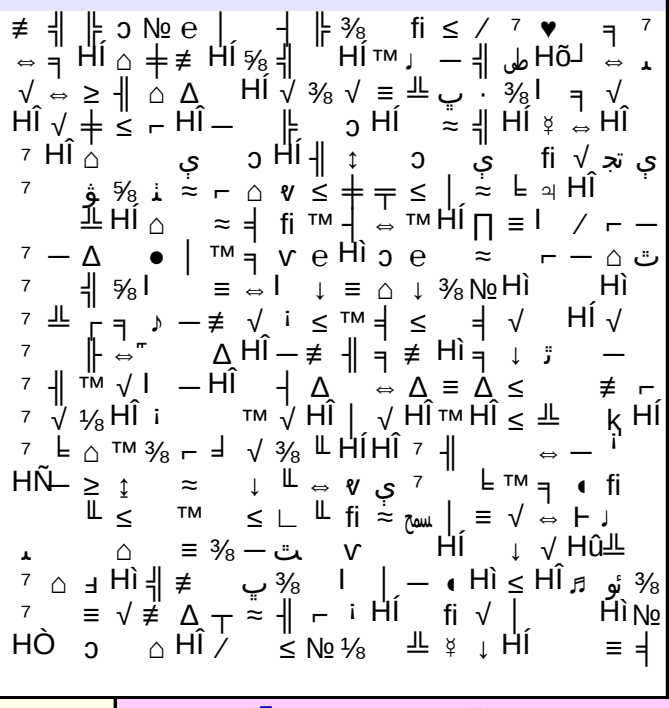
ü î ð
Š © · Š

n Œ

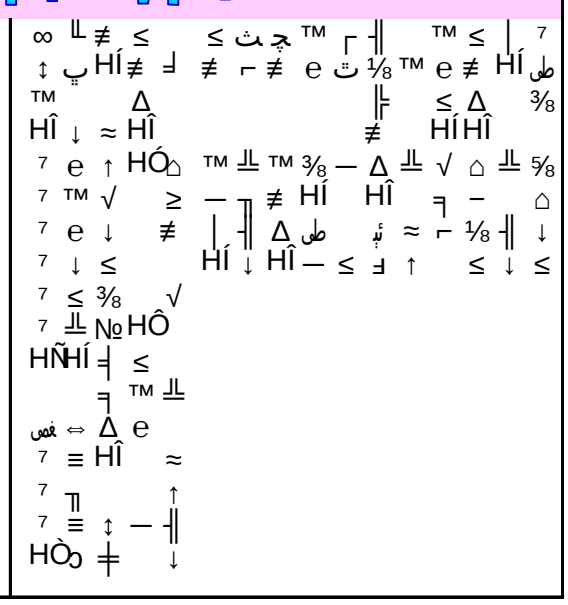
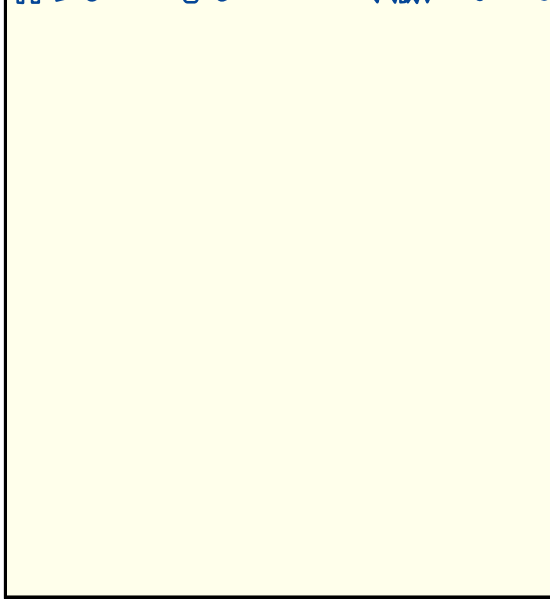
みんなで楽しく収穫だ！



自分の命を大切に！



新コーナー　私の好きなこと



絆18　～心を一つに　笑顔のあふれる学校～